

2026(令和8)年度 学生募集要項

日本文理大学

大学院 工学研究科
(修士課程)

航空電子機械工学専攻
環境情報学専攻

◆目 次

- 工学研究科 p.1
 - 航空電子機械工学専攻 p.2
 - 環境情報学専攻 p.6
- 2026(令和8)年度大学院工学研究科入学者選抜実施要領
 - 学内推薦選抜試験 p.10
 - 一般選抜試験 p.12
 - 社会人特別選抜試験 p.14
 - 外国人留学生特別選抜試験 p.16
- 出願手続・受験に関する諸注意 p.18
- 納付金【初年度納付金】 p.19
- TA(ティーチング・アシスタント)制度について p.19
- 試験場案内 p.20
- 出願書類(本学大学院所定の様式)
 - ◆ 入学志願票【A票】
 - ◆ 写真票【B票】
 - ◆ 受験票【C票】
 - ◆ 推薦書(学内推薦選抜試験)

◆入学定員

| | | |
|-----------------|------------|--------------------------------|
| 工学研究科 (修士課程) | 航空電子機械工学専攻 | 春季(4月入学): 8名 秋季(10月入学): 若干名 |
| | 環境情報学専攻 | 春季(4月入学): 8名 秋季(10月入学): 若干名 |

日本文理大学 大学院工学研究科

Graduate School of Engineering

自由で活発な研究活動から、 新たな成果が生まれる。

世界的な規模での技術提携が進み、地球環境との共生が唱えられる昨今、工業分野の研究は、ますます多様化が進んでいます。
本学大学院では、新たな研究開発や発見のために各専攻分野が手を携え、互いの学問領域を超えたボーダレスな研究活動を推進し、自由に研究を進められるよう柔軟な体制をとっています。

日本文理大学大学院の特徴

独自の研究分野にも取り組める

いまや工学の分野はボーダレスになってきており、航空宇宙工学や機械・電気工学、情報工学、環境工学など様々な研究が融合することで新しい成果が生まれることもあります。NBU大学院では各専攻1学年定員8名という規模を活かして柔軟性のある教育を実現。フレキシブルに他専攻の講義を学ぶこともでき、関心のある分野を深く探究できます。

就職・進学もきめ細かに対応

修士課程修了後に際しての就職には、教職員が一体となり、学部における就職開拓の経験や、企業とのつながりなどを活用した、きめ細かい対応を行います。さらに博士課程進学を志望する学生には、教員の研究活動におけるネットワークを活用して志望に沿った個別の進学指導を行います。

サポート体制は万全

NBU大学院ではできるだけ研究に専念できるように、TA（ティーチング・アシスタント）制度など様々なサポート体制でバックアップします。

社会人や留学生も受け入れています

NBU大学院ではすでに学部を卒業して企業等に勤める社会人や、留学生の受け入れも積極的に行っています。

航空電子機械工学専攻

Department of Aerospace, Electronic and Mechanical Engineering

航空宇宙工学・電気電子工学・機械工学を融合した新しい総合工学が現代工学の主要な分野になってくるという観点から、それぞれの基礎・応用研究を推進し、広い視野と高度な専門技術に関する能力を備えた人材の育成を目指します。

航空電子機械工学専攻

- 流体力学特論
- 弾性学特論
- 誘導工学特論
- 数理解析特論
- 応用力学特論
- 電磁気学特論
- 応用制御特論
- 電子応用工学特論
- 振動工学特論
- 衝撃力学特論
- 熱流体工学特論
- 宇宙航行力学特論
- 医用福祉工学特論
- 医工学特論

教育研究活動を通して大学院レベルの工業英語、CAD/CAE/CAM、工業数学も修得。

【航空宇宙工学】

空気力学
材料力学
構造力学
振動工学
推進工学
ロケット工学
飛行制御
宇宙航行力学
飛行力学

【電気・電子工学】

数値シミュレーション
制御工学
半導体工学
情報通信工学
電子物性基礎
電波・電子応用工学
パワーエレクトロニクス
発電工学
電気磁気学
IoT組込マイクロコンピュータメカトロニクス

【機械・ロボット工学】

機械力学
材料力学
機械材料学
機構学
自動制御
流体力学
熱力学
高速流体力学
熱流体力学
工業熱力学
エネルギー工学
機械設計製図
ロボット工学
システム工学
医用工学

本専攻の研究領域

流体、制御、ロボット工学等に関する教育研究を行う「流体制御システム分野」と、材料、電子、機械工学等に関する教育研究を行う「材料システム分野」との2つの分野からなります。しかし、この分類は本専攻の関連研究分野を明瞭に示すためのものであって、専攻としての教育研究は一体のものとして、ものづくりを支える基盤技術という統一的な視点に立って行われます。

修了後の進路

修了生の進路は大学の工学部が開拓してきた企業が多く、航空・宇宙、自動車、機械、電気関係の設計・製造系企業、工業高校教員、地方自治体や団体などへ就職しています。
さらに、博士課程への進学希望者に対する指導も行っています。

教育職員免許

<本学大学院において取得できる教育職員免許状の種類及び教科>

高等学校教諭一種免許状（工業）の取得者に対して、高等学校教諭専修免許状（工業）の取得が可能です。

航空電子機械工学専攻の授業科目

本専攻の開設授業科目及び単位数は次のとおりです。

但し、開講科目等は変更が生じる可能性があります。

| 授 業 科 目 | 単 位 | 授 業 科 目 | 単 位 |
|-----------|-----|---------------|-----|
| 流体力学特論A | 2 | 誘導工学特論A | 2 |
| 流体力学特論B | 2 | 誘導工学特論B | 2 |
| 熱流体工学特論A | 2 | 振動工学特論A | 2 |
| 熱流体工学特論B | 2 | 振動工学特論B | 2 |
| 応用力学特論A | 2 | 衝撃力学特論A | 2 |
| 応用力学特論B | 2 | 衝撃力学特論B | 2 |
| 電子応用工学特論A | 2 | 宇宙航行力学特論A | 2 |
| 電子応用工学特論B | 2 | 宇宙航行力学特論B | 2 |
| 数理解析特論A | 2 | 医用福祉工学特論A | 2 |
| 数理解析特論B | 2 | 医用福祉工学特論B | 2 |
| 電磁気学特論A | 2 | 医工学特論A | 2 |
| 電磁気学特論B | 2 | 医工学特論B | 2 |
| 応用制御特論A | 2 | 航空電子機械工学特別演習Ⅰ | 2 |
| 応用制御特論B | 2 | 航空電子機械工学特別演習Ⅱ | 2 |
| 弾性学特論A | 2 | 航空電子機械工学特別研究 | 10 |
| 弾性学特論B | 2 | | |

航空電子機械工学専攻 教員研究内容

大学院工学研究科長
室園 昌彦 教授



専門分野

- ◆ 振動学
- ◆ 構造動力学
- ◆ 熱弾性学

研究内容

- 柔軟宇宙構造物の熱弾性問題
- 構造物の振動減衰機構に関する研究
- 再突入回収カプセルの最終降着時の衝撃緩和に関する研究
- 羽ばたき飛行に適した翼構造に関する研究

伊藤 順治 教授



専門分野

- ◆ 半導体工学
- ◆ 情報通信工学
- ◆ ロボット工学
- ◆ コンピュータ応用

研究内容

- 室内位置情報に関する研究
- 高周波半導体に関する研究
- バイオニックロボットに関する研究
- AIを用いたロボット制御に関する研究

伊藤 英史 教授



専門分野

- ◆ 生体医工学
- ◆ 救急・集中治療医学
- ◆ 心臓血管外科学
- ◆ 抗加齢医学
- ◆ レギュラトリーサイエンス

研究内容

- ECMO (Extracorporeal Membrane Oxygenation) の治療成績向上に関する研究
- 拍動流循環の生体に及ぼす影響に関する研究
- 複雑先天性心疾患に対する人工心臓・人工肺に関する研究
- 生体適合材料 (バイオマテリアル) の生体への影響に関する研究
- AI予測アルゴリズムを用いた予防医療に関する研究
- 美容機器のアンチエイジング効果に関する研究

大恵 克俊 教授



専門分野

- ◆ 医用福祉工学
- ◆ 生体計測
- ◆ 生活支援工学
- ◆ マイクロマシン

研究内容

- 発声に問題を持つ人のための各種発声補助デバイスの研究
- 皮膚刺激を用いた環境情報伝達デバイスの研究
- 顕微授精手技訓練・顕微授精支援用デバイスの研究

中山 周一 教授



専門分野

- ◆ 航空工学
- ◆ 空気力学
- ◆ 機械力学

研究内容

- 航空機設計 (eVTOL等の諸元策定・航続性能推定)
- 回転機械の不安定振動に関する研究
- 金属の延性破壊に関する研究

藤田 浩輝 教授



専門分野

- ◆ 飛行力学
- ◆ 軌道力学
- ◆ 計測・制御工学

研究内容

- スペースデブリ観測効率化に関する研究
- スペースデブリ動態推定に関する研究
- 非線形性を考慮した羽ばたき翼機の姿勢運動制御に関する研究

有吉 雄哉 准教授



専門分野

- ◆ 宇宙工学
- ◆ 軌道力学
- ◆ データ同化

研究内容

- 軌道上人工物体の物理的特性の推定
- スペースデブリの空間分布の推移に関する研究
- 自律的な自己位置推定に関する研究
- 超小型人工衛星に関連する研究

永田 裕作 准教授



専門分野

- ◆ 流体物理学
- ◆ 数値モデリング

研究内容

- 流体中の集団運動によるパターン形成
- 惑星探査と古環境推定
- 暮らしのまわりの流体解析

高木 怜 准教授



専門分野

- ◆ 材料力学
- ◆ 弾性力学

研究内容

- 接着界面に生じる特異応力場に基づく合理的な接着強度評価方法の提案
- 段付き重ね合わせ継手の強度向上効果の解明
- 止水栓の滑動メカニズムの解析とその防止についての検討

穂刈 一樹 准教授



専門分野

- ◆ 材料力学
- ◆ バイオメカニクス
- ◆ 人間工学
- ◆ 感性工学

研究内容

- 皮膚感覚および深部感覚が把持における主観的評価に与える影響の解明
- 製品把持部を対象とした握り心地評価手法の構築
- 個体差を考慮した把持部設計手法の構築

原田 敦史 准教授



専門分野

- ◆ 流体工学
- ◆ 熱工学
- ◆ エネルギー工学

研究内容

- コルゲート翼を用いた風力発電装置の高効率化
- 低レイノルズ数条件下における物体周りの流れの解明

島元 世秀 准教授



専門分野

- ◆ 高電圧工学
- ◆ 静電気工学
- ◆ 電力工学
- ◆ 環境工学
- ◆ プラズマ科学

研究内容

- 大気圧非熱平衡プラズマにおける電気流体力学的流れ場の研究
- 静電気力を用いた粉体・微粒子の制御に関する研究
- 高電圧発生装置に関する研究開発
- 電磁場及び重力の理論と数値解析に関する研究
- 非熱平衡状態におけるエネルギーに関する研究
- 静電気力を応用した機器の研究開発
- 相転移に関する研究
- プラズマ材料に関する研究
- 画像解析のAI開発及び評価を用いた生体医工学に関する研究

若林 大輔 准教授



専門分野

- ◆ 磁気工学
- ◆ 磁気計測
- ◆ 電気機器工学
- ◆ 電磁界解析

研究内容

- 電気機器の低損失化・低振動化に向けた研究
 - ～電磁鋼板のベクトル磁気特性と二次元磁気ひずみ特性の測定～
 - ～変圧器モデル鉄心の局所ベクトル磁気特性と局所二次元磁気ひずみ特性の測定～
 - ～磁区微細分化処理による変圧器モデル鉄心の低鉄損化及び低振動化の検討～
 - ～有限要素法を用いた電気機器のベクトル磁気特性解析と二次元磁気ひずみ解析～
- 高速高効率モーターの開発に向けた研究
 - ～極薄電磁鋼板の高周波ベクトル磁気特性と二次元磁気ひずみ特性の測定～
 - ～モーターの低鉄損化及び低振動化に向けた鉄心設計解析～
 - ～永久磁石着磁分布の測定及び評価～

環境情報学専攻

Department of Environmental Engineering and Applied Information Science

情報工学・環境工学の基礎及び応用研究を推進し、広い視野と高度な専門技術に関する能力を備えた人材の育成を目指します。情報という基本概念に基づいて、人の生活舞台である自然環境や都市環境、建築環境をひとつの共生システムと捉えていきます。



本専攻の研究領域

情報コミュニケーションとそれに関連する理工学に関する教育研究を行う「環境情報システム工学分野」と、自然環境、都市環境、建築設計、複合材料等に関する教育研究を行う「都市設計工学分野」との2つの分野からなります。しかし、この分類は本専攻の関連研究分野を明瞭に示すためのものであって、専攻としての教育研究は一体のものとして人類とそれを支える環境という統一的な視点に立って行われます。

修了後の進路

修了生は、情報・ソフトウェア・ネットワーク関連企業、製造業界、建設業界、建設コンサルタント業、建築・設計企業、工業高校教員、地方自治体や団体などに就職しています。また最近ではサービス業界への就職など、修了生の就職先はこれまで工学部で開拓してきた企業以外にも広がっています。さらに、博士課程への進学希望者に対する指導も行っています。

教育職員免許

<本学大学院において取得できる教育職員免許状の種類及び教科>

高等学校教諭一種免許状（工業）の取得者に対して、高等学校教諭専修免許状（工業）の取得が可能です。

環境情報学専攻の授業科目

本専攻の開設授業科目及び単位数は次のとおりです。

但し、開講科目等の変更が生じる可能性があります。

| 授 業 科 目 | 単 位 | 授 業 科 目 | 単 位 |
|-----------|-----|---------------------|-----|
| 環境情報科学特論A | 2 | 近代建築史特論A | 2 |
| 環境情報科学特論B | 2 | 近代建築史特論B | 2 |
| 数理解析特論A | 2 | LSI設計支援学特論A | 2 |
| 数理解析特論B | 2 | LSI設計支援学特論B | 2 |
| 応用力学特論A | 2 | システム解析学特論A | 2 |
| 応用力学特論B | 2 | システム解析学特論B | 2 |
| 地球学特論A | 2 | 音楽情報学特論A | 2 |
| 地球学特論B | 2 | 音楽情報学特論B | 2 |
| 都市基盤工学特論A | 2 | コミュニケーションネットワーク学特論A | 2 |
| 都市基盤工学特論B | 2 | コミュニケーションネットワーク学特論B | 2 |
| 画像情報学特論A | 2 | インターンシップA | 4 |
| 画像情報学特論B | 2 | インターンシップB | 4 |
| 環境流体力学特論A | 2 | インターンシップC | 4 |
| 環境流体力学特論B | 2 | インターンシップD | 4 |
| 建築設計特論A | 2 | 環境情報学特別演習Ⅰ | 2 |
| 建築設計特論B | 2 | 環境情報学特別演習Ⅱ | 2 |
| 建築材料設計特論A | 2 | 環境情報学特別研究 | 10 |
| 建築材料設計特論B | 2 | | |

環境情報学専攻 教員研究内容

池畑 義人 教授



専門分野

- ◆ 環境流体力学
- ◆ 沿岸海洋工学

研究内容

- 高消波性能を有する浮消波堤の開発
- 干潟の底質輸送の研究
- 沿岸域における飛砂被害の調査
- 生物多様性に配慮した農地整備の研究

池見 洋明 教授



専門分野

- ◆ 応用地質学
- ◆ 地圏環境工学
- ◆ 地理情報システム
- ◆ 同位体地球化学

研究内容

- 地理情報システムを活用した災害情報共有化に関する研究
- 地域防災に関わる土地利用の変遷と地形変化に関する研究
- プロセスベースの地形解析技術による斜面崩壊予測に関する研究
- 山地流域の風化と土の生成メカニズムに関する研究

坂井 美穂 教授



専門分野

- ◆ 微生物利用学
- ◆ 教育工学

研究内容

- 食品廃棄物のバイオマス資源からの有用物質の抽出に関する調査
- 微生物を利用した生物変換処理など有効利用法に関する調査
- 初年次リメディアル教科における授業設計

西村 謙司 教授



専門分野

- ◆ 建築論
- ◆ 建築設計
- ◆ 建築歴史・意匠
- ◆ 建築計画

研究内容

- 建築論
- 建築意匠論
- 教育・医療・福祉建築設計
- 磯崎新の建築に関する研究
- 大分県の都市史研究

濱永 康仁 教授



専門分野

- ◆ コンクリート工学
- ◆ 材料工学
- ◆ 構造力学

研究内容

- コンクリートの乾燥収縮ひび割れ発生条件
- コンクリートの収縮ひび割れ抑制
- フライアッシュ混入コンクリートの諸特性

福島 学 教授



専門分野

- ◆ デジタル信号処理
- ◆ コミュニケーション工学
- ◆ ネットワーク工学
- ◆ 計測・制御工学
- ◆ メディア情報処理

研究内容

- 生体情報を用いたセキュアコミュニケーションに関する研究
- イマーシブコミュニケーションに向けたメディア情報処理に関する研究
- 物理的・心的・バイタル的評価に基づくQOLに関する研究
- 睡眠の質に関する研究
- デジタルシチズンシップに関する研究

吉村 充功 教授



専門分野

- ◆ 交通計画
- ◆ 都市計画
- ◆ 土木計画学
- ◆ 交通経済学

研究内容

- 広域交通ネットワークに関する研究
- 地域間交流による地域活性化の効果に関する研究
- 次世代モビリティの在り方に関する研究
- 自転車を活用したまちづくりに関する研究
- ソフト施策による交通混雑解消に関する研究

石井 翔大 准教授



専門分野

- ◆ 近代建築史
- ◆ 建築論
- ◆ 建築設計

研究内容

- 建築意匠論
- 大江宏の作品と思想に関する研究
- BIMを活用した建築教育に関する研究

星芝 貴行 准教授



専門分野

- ◆ 音楽情報処理学
- ◆ 感性情報処理学

研究内容

- 演奏者の個性を考慮した情緒あるピアノ自動演奏に関する研究
- 邦楽譜・五線譜相互変換システムの構築に関する研究

吉森 聖貴 准教授



専門分野

- ◆ 画像情報処理学
- ◆ 感性情報処理学

研究内容

- 照明変動に頑健な画像処理に関する研究
- 顔画像における個性と印象に関する研究
- 生体認証に関する研究

学内推薦選抜試験

① 出願資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 本学を2026（令和8）年3月（秋季は2026（令和8）年9月）に卒業見込みの者、又は本学卒業後2年以内で、その間学術機関に在籍又は在職している者
- (2) 学業優秀であるか、あるいは特定の分野に特に優れた能力を有する者
- (3) 本学の指導教員の推薦を受けた者

② 入試日程

| 入試区分 | 出願期間 ※締切日消印有効 | 入試日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------|----------------------------|-------------------|------------------|------------------------------|
| 1 期 | 2025年 7月15日(火)～7月25日(金) | 2025年 8月22日(金) | 2025年 9月5日(金) | 2026年 3月23日(月) 12:00必着 |
| 2 期 | 2026年 1月26日(月)～2月6日(金) | 2026年 2月18日(水) | 2026年 3月6日(金) | |

秋季入学制度

◆秋季入学試験を2026年8月中旬～下旬に実施予定【出願期間：2026年7月中旬～7月下旬 合格発表：9月初旬 入学手続：9月中旬】です。若干の変更が生じる場合がありますので、詳細については本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学アドミッションオフィス担当内）にお問い合わせ下さい。

③ 試験内容・時間・試験場

| 集合時間 | 試験科目・時間 | 試験場 |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------|--------|
| 12:50 | 小論文試験 (課題等は当日発表) 13:00～14:00(60分) | 日本文理大学 |
| ※受験者は12:30より試験会場に入室可能です。 | 面接試験 (複数教員による専門的学力・適性等に関する面接。口頭試問を含む) 14:15～(1人あたり約30分) | |

※出願状況等によって、実施時間が変更になる場合があります。

④ 選考方法

試験結果、及び出願書類の記載内容による総合判定にて合否を決定します。

配点 小論文試験 100点 面接試験 100点 [合計 200点]

5 出願書類 ≪*の付いているものは、本学大学院所定の様式≫

- (1) ***入学志願票【A票】(巻末とじ込み)**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (2) ***写真票【B票】(巻末とじ込み)**
所定の欄はすべて記入して下さい。写真は縦4cm×横3cm、上半身正面・脱帽・無背景で、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。裏面には氏名を記入し、所定の位置にしっかりと貼り付けて下さい。
- (3) ***受験票【C票】(巻末とじ込み)**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (4) ***推薦書(巻末とじ込み)**
指導教員の記入・捺印したもので、密封したもの。
- (5) **成績証明書**
本学において作成し、学長印が押され密封したもの。
- (6) **卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込み証明書**
本学において作成し、学長印が押され、密封したもの。
- (7) **研究計画書**
大学院の志望理由、研究テーマ、研究の到達目標などを具体的に1,000字程度で記入したもの。パソコン作成可。様式自由。氏名・志望専攻名も記入。
【事前に希望研究室教員と面談・相談を行った上で作成して下さい。】

※入学試験受験料は免除されます。

※本学卒業後に、学術機関に在籍又は在職した者は、別途書類の提出を求めることがあります。

出願書類提出方法

上記の書類をすべて取り揃え市販の封筒(角形2号)に入れ、封筒の表に「志願者住所」「志願者氏名」「志望専攻」「入試区分」を記入し、下記のいずれかの方法で提出して下さい。

◆郵送の場合:「簡易書留」にて以下の送付先に郵送して下さい。

〒870-0397 大分県大分市一木1727 日本文理大学 大学院工学研究科入試係 行

◆窓口で持参の場合: アドミッションオフィス担当窓口 (NBU情報センター2F)

〈取扱時間〉月～金(祝日、お盆・年末年始等は除く) 8:30～17:00

6 合格発表

- ◆受験者本人に合否通知をアドミッションオフィス担当窓口にてお渡しします。なお、希望者にはレターパックライトで送付することもできます。詳細は受験票送付時にご案内します。
- ◆合格者には、合格通知書及び入学手続書類一式をお渡しします。

7 入学手続

- ◆各入試区分の入学手続締切日までに入学手続書類の提出、および入学手続時納付金を納入して下さい。詳細は、合格通知に同封する案内および「2026(令和8)年度入学手続要項」を必ず参照して下さい。

8 日本文理大学 大学院奨励金制度

対象者:「学内推薦選抜」によって本学から本学大学院に進学を志望する者で、学業の成績が特に優れ、品行方正な者(但し、留学生を除く)。

対象者の総数は5名以内とする。

特典: Aランク奨励金対象者: 年間の授業料 40万円免除

Bランク奨励金対象者: 年間の授業料 25万円免除

※奨励金対象者は、年間30～60コマのTA業務(詳細はP19参照)に従事しなければならない。

※TA業務に従事した場合は所定のTA経費がコマ数に応じて支払われる。

申請方法: 志願票〔A票〕の該当欄に申請の有無を記入して下さい。

審査基準: (1) 大学院入学者選抜試験の結果

(2) 本学在学時における入学試験選抜特待生の奨励金制度ランク

※上記の審査基準に加え、出願書類や採用枠数等から総合的に判定。

結果発表: 大学院入学者選抜試験の合格発表と同時に行います。

支給方法: 前期・後期に分けて授業料から減免します。

その他: 奨励金制度ランク適用者は、年度末に別途定める委員会において資格の継続審査を行います。

一般選抜試験

① 出願資格

次のいずれかの要件に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2026（令和8）年3月（秋季は2026（令和8）年9月に卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026（令和8）年3月（秋季は2026（令和8）年9月）までに授与される見込みの者
- (3) 日本国外において学校教育12年の課程を修了した者、又はこれに準ずると認められた者で、日本の大学を卒業した者及び2026（令和8）年3月（秋季は2026（令和8）年9月）に卒業見込みの者
- (4) 文部科学大臣が指定した者
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026（令和8）年4月1日（秋季は2026（令和8）年10月1日）において満22歳に達する者

※出願資格(5)により出願する者は入学資格審査が必要になるため、出願開始の約1ヶ月前までには、本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学 アドミッションオフィス担当内）に必ずお問い合わせ下さい。

② 入試日程

| 入試区分 | 出願期間 ※締切日消印有効 | 入試日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------|----------------------------|-------------------|------------------|-------------------------------|
| 1 期 | 2025年 7月15日(火)～7月25日(金) | 2025年 8月22日(金) | 2025年 9月5日(金) | 2025年 12月2日(火) 12:00 必着 |
| 2 期 | 2026年 1月26日(月)～2月6日(金) | 2026年 2月18日(水) | 2026年 3月6日(金) | 2026年 3月23日(月) 12:00 必着 |

秋季入学制度

◆秋季入学試験を2026年8月中旬～下旬に実施予定【出願期間：2026年7月中旬～7月下旬 合格発表：9月初旬 入学手続：9月中旬】です。若干の変更が生じる場合がありますので、詳細については本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学アドミッションオフィス担当内）にお問い合わせ下さい。

③ 試験内容・時間・試験場

| 集合時間 | 試験科目・時間 | 試験場 |
|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 12:50 ※受験者は12:30より試験会場に入室可能です。 | 小論文試験 (課題等は当日発表) 13:00～14:00 (60分) | 日本文理大学 |
| | 学力試験(英語) (英語辞書の持込が可能。ただし、電子辞書は不可) 14:15～15:15 (60分) ※英語外部資格試験を利用する場合は免除。 | |
| | 面接試験 (複数教員による専門的学力・適性等に関する面接。口頭試問を含む) 15:30～(1人あたり約30分) | |

※出願状況等によって、実施時間が変更になる場合があります。

4 選考方法

試験結果、及び出願書類の記載内容による総合判定にて合否を決定します。

| | | |
|----|----------|----------------|
| 配点 | 面接試験 | 100点 |
| | 小論文試験 | 100点 |
| | 学力試験（英語） | 100点 [合計 300点] |

英語外部資格試験について

入試日より2年以内に受験した以下のいずれかの英語外部資格試験の成績を利用することができます。英語外部資格試験の成績を利用する場合は、本学独自の学力試験（英語）を免除します。

なお、以下の2種類の英語外部資格試験を複数受験した場合は、いずれか1つを選択してスコア証明書（原本）を提出して下さい。

- ・TOEIC® L & R
- ・TOEFL® iBT

5 出願書類

《*の付いているものは、本学大学院所定の様式》

- (1) ***入学志願票【A票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (2) ***写真票【B票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。写真は縦4cm×横3cm、上半身正面・脱帽・無背景で、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。裏面には氏名を記入し、所定の位置にしっかりと貼り付けて下さい。
- (3) ***受験票【C票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (4) **成績証明書**
最終出身学校において作成し、学長印又は学部長印が押され、密封したもの。
- (5) **卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書**
最終出身学校において作成し、学長印又は学部長印が押され、密封したもの。
- (6) **研究計画書**
大学院の志望理由、研究テーマ、研究の到達目標などを具体的に1,000字程度で記入したもの。パソコン作成可。様式自由。氏名・志望専攻名も記入。
【事前に希望研究室教員と面談・相談を行った上で作成して下さい。】
- (7) **英語外部資格試験（TOEIC・TOEFL）のスコア（証明書）原本**
入試日より2年以内のもの。スコア（証明書）の原本は受験票に同封して返却します。
- (8) **入学試験受験料（納入した証明書類のコピー）**
受験料：20,000円
【受験料納入方法】下記のいずれかの方法で納入し、証明書類のコピーを提出して下さい。
 - ◆大学経理窓口に直接持参の場合：領収書のコピーを提出して下さい。
〈取扱時間〉月～金（祝日、お盆・年末年始等は除く）8：30～17：00
 - ◆銀行口座に振込の場合：振込証明書のコピーを提出して下さい。
〈振込先〉三井住友銀行大分支店 普通預金口座630661 ニホンブンリダイガクノウフキングチ ガッコウホウジブンリガクエン 日本文理大学納付金口 学校法人文理学園
※振込手数料はご負担下さい。

出願書類提出方法

上記の書類を取り揃え市販の封筒（角形2号）に入れ、封筒の表に「志願者住所」「志願者氏名」「志望専攻」「入試区分」を記入し、下記のいずれかの方法で期日までに提出して下さい。

- ◆郵送の場合：「簡易書留」にて以下の送付先に郵送して下さい。
〒870-0397 大分県大分市一木1727 日本文理大学 大学院工学研究科入試係 行
- ◆窓口に持参の場合：アドミッションオフィス担当窓口（NBU情報センター2F）
〈取扱時間〉月～金（祝日、お盆・年末年始等は除く）8：30～17：00

6 合格発表

- ◆受験者本人に合否通知をレターパックライトで送付します。
- ◆合格者には、合格通知書及び入学手続書類一式を送付します。

7 入学手続

- ◆各入試区分の入学手続締切日までに入学手続書類の提出、および入学手続時納付金を納入して下さい。詳細は、合格通知に同封する案内および「2026（令和8）年度入学手続要項」を必ず参照して下さい。

社会人特別選抜試験

① 出願資格

次のいずれかの要件に該当する者で、かつ2年以上の職歴があり在職中の者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 日本国外において学校教育12年の課程を修了した者、又はこれに準ずると認められた者で、日本の大学を卒業した者及び2026（令和8）年3月（秋季は2026（令和8）年9月）に卒業見込みの者
- (4) 文部科学大臣が指定した者
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026（令和8）年4月1日（秋季は2026（令和8）年10月1日）において満24歳に達する者

※出願資格(5)により出願する者は入学資格審査が必要になるため、出願開始の約1ヶ月前までには、本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学 アドミッションオフィス担当内）に必ずお問い合わせ下さい。

② 入試日程

| 入試区分 | 出願期間 ※締切日消印有効 | 入試日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------|----------------------------|-------------------|------------------|-------------------------------|
| 1 期 | 2025年 7月15日(火)～7月25日(金) | 2025年 8月22日(金) | 2025年 9月5日(金) | 2025年 12月2日(火) 12:00 必着 |
| 2 期 | 2026年 1月26日(月)～2月6日(金) | 2026年 2月18日(水) | 2026年 3月6日(金) | 2026年 3月23日(月) 12:00 必着 |

秋季入学制度

◆秋季入学試験を2026年8月中旬～下旬に実施予定【出願期間：2026年7月中旬～7月下旬 合格発表：9月初旬 入学手続：9月中旬】です。若干の変更が生じる場合がありますので、詳細については本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学アドミッションオフィス担当内）にお問い合わせ下さい。

③ 試験内容・時間・試験場

| 集合時間 | 試験科目・時間 | 試験場 |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|
| ※受験者は12:30より試験会場に入室可能です。 | 小論文試験 (課題等は当日発表) 13:00～14:00 (60分) | 日本文理大学 |
| | 学力試験(英語) (英語辞書の持込が可能。ただし、電子辞書は不可) 14:15～15:15 (60分) ※英語外部資格試験を利用する場合は免除。 | |
| | 面接試験 (複数教員による専門的学力・適性等に関する面接。口頭試問を含む) 15:30～(1人あたり約30分) | |

※出願状況等によって、実施時間が変更になる場合があります。

4 選考方法

試験結果、及び出願書類の記載内容による総合判定にて合否を決定します。

| | | |
|----|----------|----------------|
| 配点 | 面接試験 | 100点 |
| | 小論文試験 | 100点 |
| | 学力試験（英語） | 100点 [合計 300点] |

英語外部資格試験について

入試日より2年以内に受験した以下のいずれかの英語外部資格試験の成績を利用することができます。英語外部資格試験の成績を利用する場合は、本学独自の学力試験（英語）を免除します。

なお、以下の2種類の英語外部資格試験を複数受験した場合は、いずれか1つを選択してスコア証明書（原本）を提出して下さい。

- ・TOEIC® L&R
- ・TOEFL® iBT

5 出願書類

《*の付いているものは、本学大学院所定の様式》

- (1) ***入学志願票【A票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (2) ***写真票【B票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。写真は縦4cm×横3cm、上半身正面・脱帽・無背景で、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。裏面には氏名を記入し、所定の位置にしっかりと貼り付けて下さい。
- (3) ***受験票【C票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (4) **成績証明書**
最終出身学校において作成し、学長印又は学部長印が押され、密封したもの。
- (5) **卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書**
最終出身学校において作成し、学長印又は学部長印が押され、密封したもの。
- (6) **在職を証明する書類**
勤務先が発行するもの（在職証明書等）や、受験者本人の健康保険証明書等のコピー。
- (7) **研究計画書**
大学院の志望理由、研究テーマ、研究の到達目標などを具体的に1,000字程度で記入したもの。パソコン作成可。様式自由。氏名・志望専攻名も記入。
※事前に希望研究室教員と面談・相談を行った上で作成して下さい。
- (8) **英語外部資格試験（TOEIC・TOEFL）のスコア（証明書）原本**
入試日より2年以内のもの。スコア（証明書）の原本は受験票に同封して返却します。
- (9) **入学試験受験料（納入した証明書類のコピー）**
受験料：20,000円
【受験料納入方法】下記のいずれかの方法で納入し、証明書類のコピーを提出して下さい。
 - ◆大学経理窓口へ直接持参の場合：領収書のコピーを提出して下さい。
〈取扱時間〉月～金（祝日、お盆・年末年始等は除く）8：30～17：00
 - ◆銀行口座へ振込の場合：振込証明書のコピーを提出して下さい。
ニホンブン リダイガクノウフ キングチ ガッコウホウジンブン リ ガクエン
〈振込先〉三井住友銀行大分支店 普通預金口座 630661 日本文理大学納付金口 学校法人文理学園
※振込手数料はご負担下さい。

出願書類提出方法

上記の書類を取り揃え市販の封筒（角形2号）に入れ、封筒の表に「志願者住所」「志願者氏名」「志望専攻」「入試区分」を記入し、下記のいずれかの方法で期日までに提出して下さい。

- ◆郵送の場合：「簡易書留」にて以下の送付先に郵送して下さい。
〒870-0397 大分県大分市一本1727 日本文理大学 大学院工学研究科入試係 行
- ◆窓口へ持参の場合：アドミッションオフィス担当窓口（NBU情報センター2F）
〈取扱時間〉月～金（祝日、お盆・年末年始等は除く）8：30～17：00

6 合格発表

- ◆受験者本人に合否通知をレターパックライトで送付します。
- ◆合格者には、合格通知書及び入学手続書類一式を送付します。

7 入学手続

- ◆各入試区分の入学手続締切日までに入学手続書類の提出、および入学手続時納付金を納入して下さい。詳細は、合格通知に同封する案内および「2026（令和8）年度入学手続要項」を必ず参照して下さい。
- ◆在職中の勤務機関が発行する入学承諾書（本学大学院所定の様式）が必要です。

8 長期履修制度について

職業を有し、かつ、就業している者等で、通常の学修時間の確保が著しく困難である場合には長期履修制度を申請することができます。詳しくは工学研究科入試係までお問い合わせ下さい。

外国人留学生特別選抜試験

① 出願資格

次の要件をすべて満たす者

- (1) 日本以外の国籍を有する者
- (2) 日本の永住許可を得ていない者
- (3) 出入国管理及び難民認定法の定めるところにより、大学院入学に支障のない在留資格（「留学」又は在日のまま「留学」へ変更できる在留資格）を有する者、及び入学に際し該当資格を有する見込みのある者
- (4) 日本語学習の経験を有する者
- (5) 日本国外において学校教育12年の課程を修了した者、又はこれに準ずると認められた者で、以下のいずれかに該当する者
 - (ア) 日本の大学を卒業した者及び2026（令和8）年3月（秋季は2026（令和8）年9月）に卒業見込みの者
 - (イ) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026（令和8）年4月1日（秋季は2026（令和8）年10月1日）において満22歳に達する者

※出願資格(5)(イ)により出願する者は入学資格審査が必要になるため、出願開始の約1ヶ月前までには、本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学 アドミッションオフィス担当内）に必ずお問い合わせ下さい。

② 入試日程

| 入試区分 | 出願期間 ※締切日消印有効 | 入試日 | 合格発表 | 入学手続 |
|------|----------------------------|-------------------|------------------|-------------------------------|
| 1 期 | 2025年 7月15日(火)～7月25日(金) | 2025年 8月22日(金) | 2025年 9月5日(金) | 2025年 12月2日(火) 12:00 必着 |
| 2 期 | 2026年 1月26日(月)～2月6日(金) | 2026年 2月18日(水) | 2026年 3月6日(金) | 2026年 3月23日(月) 12:00 必着 |

秋季入学制度

◆秋季入学試験を2026年8月中旬～下旬に実施予定【出願期間：2026年7月中旬～7月下旬 合格発表：9月初旬 入学手続：9月中旬】です。若干の変更が生じる場合がありますので、詳細については本学大学院工学研究科入試係（日本文理大学アドミッションオフィス担当内）にお問い合わせ下さい。

③ 試験内容・時間・試験場

| 集合時間 | 試験科目・時間 | 試験場 |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 12:50 ※受験者は12:30より試験会場に入室可能です。 | 小論文試験 (課題等は当日発表) 13:00～14:00 (60分) | 日本文理大学 |
| | 学力試験(英語) (英語辞書の持込が可能。ただし、電子辞書は不可) 14:15～15:15 (60分) ※英語外部資格試験を利用する場合は免除。 | |
| | 面接試験 (複数教員による専門的学力・適性等に関する面接。口頭試問を含む) 15:30～(1人あたり約30分) | |

※出願状況等によって、実施時間が変更になる場合があります。

4 選考方法

試験結果、及び出願書類の記載内容による総合判定にて合否を決定します。

| | | | |
|----|----------|------|-----------|
| 配点 | 面接試験 | 100点 | |
| | 小論文試験 | 100点 | |
| | 学力試験（英語） | 100点 | [合計 300点] |

英語外部資格試験について

入試日より2年以内に受験した以下のいずれかの英語外部資格試験の成績を利用することができます。英語外部資格試験の成績を利用する場合は、本学独自の学力試験（英語）を免除します。

なお、以下の2種類の英語外部資格試験を複数受験した場合は、いずれか1つを選択してスコア証明書（原本）を提出して下さい。

- ・TOEIC® L&R
- ・TOEFL® iBT

5 出願書類

《*の付いているものは、本学大学院所定の様式》

- (1) ***入学志願票【A票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (2) ***写真票【B票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。写真は縦4cm×横3cm、上半身正面・脱帽・無背景で、出願前3ヶ月以内に撮影したもの。裏面には氏名を記入し、所定の位置にしっかりと貼り付けて下さい。
- (3) ***受験票【C票】（巻末とじ込み）**
所定の欄はすべて記入して下さい。
- (4) **成績証明書**
最終出身学校において作成し、学長印又は学部長印が押され、密封したもの。
- (5) **卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書**
最終出身学校において作成し、学長印又は学部長印が押され、密封したもの。
- (6) **日本語能力に関する証明書**
日本留学試験（日本語）の成績証明書又は日本語能力を有することを証明する書類等。
（例：日本語学校修了証明書）
- (7) **在留カードのコピー**
日本に在留している場合のみ提出。提出の際は表・裏のコピーを提出。
- (8) **パスポートのコピー**
表紙、顔写真、氏名記載ページと出入国履歴のあるページのコピーを提出。
- (9) **研究計画書**
大学院の志望理由、研究テーマ、研究の到達目標などを具体的に1,000字程度で記入したもの。パソコン作成可。様式自由。氏名・志望専攻名も記入。
※事前に希望研究室教員と面談・相談を行った上で作成して下さい。
- (10) **英語外部資格試験（TOEIC・TOEFL）のスコア（証明書）原本**
入試日より2年以内のもの。スコア（証明書）の原本は受験票に同封して返却します。
- (11) **入学試験受験料（納入した証明書類のコピー）**
受験料：20,000円
【受験料納入方法】下記のいずれかの方法で納入し、証明書類のコピーを提出して下さい。
 - ◆大学経理窓口へ直接持参の場合：領収書のコピーを提出して下さい。
〈取扱時間〉月～金（祝日、お盆・年末年始等は除く）8：30～17：00
 - ◆銀行口座へ振込の場合：振込証明書のコピーを提出して下さい。
〈振込先〉三井住友銀行大分支店 普通預金口座 630661 ニホンブンリダイガクノウフキョウチ ガッコウホウジンブンリガクエン 日本文理大学納付金口 学校法人文理学園
※振込手数料はご負担下さい。

出願書類提出方法

上記の書類を取り揃え市販の封筒（角形2号）に入れ、封筒の表に「志願者住所」「志願者氏名」「志望専攻」「入試区分」を記入し、下記のいずれかの方法で期日までに提出して下さい。

- ◆郵送の場合：「簡易書留」にて以下の送付先に郵送して下さい。
〒870-0397 大分県大分市一本1727 日本文理大学 大学院工学研究科入試係 行
- ◆窓口へ持参の場合：アドミッションオフィス担当窓口（NBU情報センター2F）
〈取扱時間〉月～金（祝日、お盆・年末年始等は除く）8：30～17：00

6 合格発表

- ◆受験者本人に合否通知をレターパックライトで送付します。
- ◆合格者には、合格通知書及び入学手続書類一式を送付します。

7 入学手続

- ◆各入試区分の入学手続締切日までに入学手続書類の提出、および入学手続時納付金を納入して下さい。詳細は、合格通知に同封する案内および「2026（令和8）年度入学手続要項」を必ず参照して下さい。
- ◆ビザ更新等の必要がある場合は、入学までに在留に関する各種申請手続きを行って下さい。

出願手続・受験に関する諸注意

1 出願方法

- ① 受験する入試区分についてのページを必ず熟読し、出願書類を確認・作成して下さい。市販の封筒(角形2号)に入れ、封筒の表に「志願者住所」「志願者氏名」「志望専攻」「入試区分」を記入し、下記のいずれかの方法で期日までに提出して下さい。
 - ◆郵送の場合:「簡易書留」にて以下の送付先に郵送して下さい。
〒870-0397 大分県大分市一本1727 日本文理大学 大学院工学研究科入試係 行
 - ◆窓口持参の場合: アドミッションオフィス担当窓口 (NBU情報センター2F)
(取扱時間) 月～金(祝日、お盆・年末年始等は除く) 8:30～17:00
- ② 出願書類提出後は、書類記載内容等の変更はできません。

2 受験票

- ① 出願に必要な提出書類が完備している場合に限り、受験票を返送します。
- ② 受験票は入試日当日持参して下さい。
- ③ 入試日の2日前になっても受験票が届かない場合は、工学研究科入試係(日本文理大学 アドミッションオフィス担当内)にお問い合わせ下さい。
- ④ 受験票は、受験及び入学手続きが完了するまで大切に保管して下さい。

3 受験上の注意

- ① 受験者は集合時間までに、所定の会場に入室し、指定された席に着席して下さい。着席後は机の上に受験票を置いて下さい。
- ② 筆記試験時に使用を許可するものは、HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、時計(時計機能のみのもの)に限ります。英語の試験においては、辞書の持込が可能です(ただし、電子辞書は不可)。それ以外のものはカバン等に入れ、監督者の指示する場所に置いて下さい。
- ③ 受験票を忘れてたり紛失したりした場合は、速やかに監督者に申し出てその指示を受けて下さい。
- ④ 遅刻した者は監督者の指示を受けて下さい。試験開始後20分以上の遅刻者は受験できません。また、遅刻20分以内であっても、試験時間の延長は認めません。
- ⑤ 試験時間中は携帯電話等の電源を必ず切り、カバン等に入れ試験時間中は絶対に触れないで下さい。

4 その他の注意

- ① 受験のための宿泊所の紹介は行わないので、各自手配して下さい。
- ② 試験場の下見は建物の位置確認だけで会場内に入ることはできません。
- ③ 不測の事態が生じ、緊急対応措置を講じる場合は、文書、ホームページ等で周知いたします。
- ④ 入試日当日に、天災等による交通機関の乱れなど、不測の事態が発生し、受験に支障が生じる可能性がある場合は、工学研究科入試係(日本文理大学 アドミッションオフィス担当内)まで速やかにご連絡下さい。
- ⑤ 入学志願票及び提出書類等に記載された個人情報、入学試験の実施及び合否に関する通知、入学までに必要な情報の提供等について使用するものとし、他の目的には一切使用することはありません。
- ⑥ 健康上の理由から特別措置を希望する場合は、事前に工学研究科入試係(日本文理大学 アドミッションオフィス担当内)へご相談下さい。また、障がいのある方についても、障がい等の状態に応じて配慮いたしますので、事前にご相談下さい。

納付金【初年度納付金】

- ※希望者は入学手続き時に前期分と後期分を合わせて納入することができます。
- ※納付金に関する詳細及び納入方法は、合格通知に同封する案内等でご確認下さい。
- ※校友会費（35,000円）については、学内推薦選抜者は日本文理大学卒業時に徴収済、その他の選抜者は修士2年前期に徴収いたします。
- ※学生教育研究関係保険の内訳…学生教育研究災害傷害保険料1,200円、学生教育研究賠償責任保険料680円。
- ※入学時及び在学中に授業料等の改定が行われた場合や、物価変動価格調整金が生じた場合には、別途お知らせします。
- ※私費外国人留学生を対象とした「私費外国人留学生特待生制度」があります。詳細については大学院工学研究科入試係（日本文理大学アドミッションオフィス担当内）にお問い合わせ下さい。
- ※外国人留学生は、外国人留学生向け学研災害付帯学生生活総合保険料7,340円（2年間分）が別途必要です。

学内推薦選抜（日本文理大学出身者）

単位：円

| | 初年度 | | 備考 |
|------------|----------------|---------------------|----------------|
| | 前期 (入学手続き時) | 後期 (納入期限：10月28日) | |
| 入学金 | 100,000 | | 入学時のみ |
| 授業料 | 350,000 | 350,000 | |
| 教育充実費 | 193,000 | 193,000 | |
| 委託徴収金 | 後援会費 | 20,000 | 1ヵ年分を 毎年度徴収 |
| | 校友会費 | 10,000 | |
| 学生教育研究関係保険 | 1,880 | | 入学時のみ（2年分） |
| 合計 | 674,880 | 543,000 | |
| 総合計 | 1,217,880 | | |

※大学院奨励金制度適用者は、前期・後期に分けて授業料から減免します。詳細はp11をご確認下さい。

一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

単位：円

| | 初年度 | | 備考 |
|------------|----------------|---------------------|----------------|
| | 前期 (入学手続き時) | 後期 (納入期限：10月28日) | |
| 入学金 | 200,000 | | 入学時のみ |
| 授業料 | 350,000 | 350,000 | |
| 教育充実費 | 193,000 | 193,000 | |
| 委託徴収金 | 後援会費 | 20,000 | 1ヵ年分を 毎年度徴収 |
| | 校友会費 | 11,000 | |
| 学生教育研究関係保険 | 1,880 | | 入学時のみ（2年分） |
| 合計 | 775,880 | 543,000 | |
| 総合計 | 1,318,880 | | |

TA（ティーチング・アシスタント）制度について

● TA（ティーチング・アシスタント）とは

大学院生が学部学生等に対して、教員の指示により授業の実験、実習、演習等の教育補助業務等を行い、これに対して手当が支給される制度です。

この制度には、TAの業務を通して指導者としてのトレーニングを積むことができるという教育的目的と、謝金により学生生活の支援を行うという目的があります。

<TAの業務（例）>

- ・学部の授業において、セミナー、実験、実習、実技等の教員指導の補助
- ・学部学生に対し、授業時間外において文献収集方法の教示やレポート作成の指導補助
- ・オープンキャンパス等の大学の催事や学会等の開催準備並びに当日の運営スタッフとしての業務

● 支給金額

時給1,200円／1コマ（90分）につき1,800円

※TA制度を希望する方は、合格後または入学後、担当教員へお申し込み下さい。

日本文理大学大学院入学試験 試験場案内

日本文理大学試験場

【お問い合わせ先】

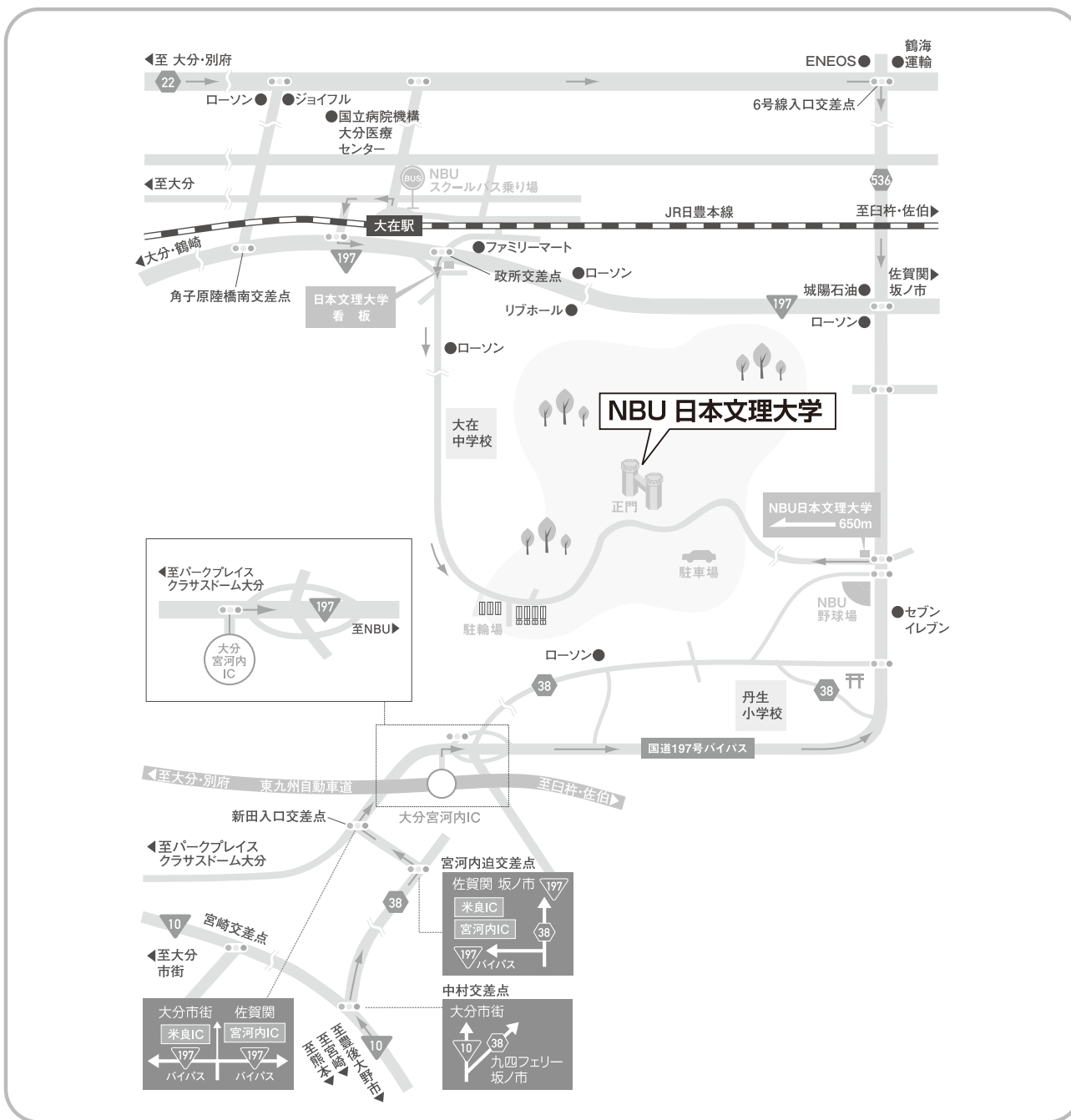
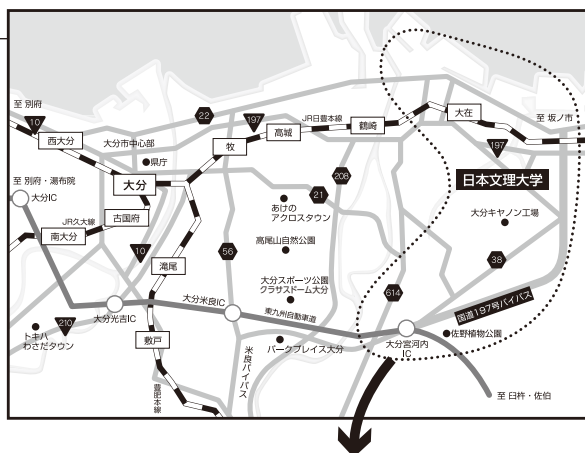
日本文理大学大学院工学研究科入試係
(日本文理大学 アドミッションオフィス担当)

〒870-0397 大分県大分市一木1727

入試専用フリーダイヤル ☎ 0120-097-593

TEL:097-524-2708(直通) FAX:097-592-5418

※試験室については別途ご案内します。



日本文理大学大学院入学志願票【A票】

*印欄は記入しないで下さい

| | | | | | |
|--------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------------------|--|
| | | 受験番号 | | * | |
| 入試区分 <small>(※いずれかを○で囲んで下さい)</small> | | 学内推薦選抜・一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 | | | |
| 奨励金制度 <small>※対象は学内推薦選抜のみ</small> | | <input type="checkbox"/> 申請する | | <input type="checkbox"/> 申請しない | |
| 志望専攻 <small>※いずれかを○で囲んで下さい</small> | | 航空電子機械工学専攻・環境情報学専攻 | | 入試日 | |
| 希望研究室 <small>※希望の研究室が決定している場合は記入して下さい</small> | | | | 月 日 | |
| フリガナ | | 性別 | | (写真貼付場所) 上半身脱帽 正面向き 出願3ヶ月以内 撮影の物 (4cm×3cm) | |
| 氏名 | | 男・女 | | | |
| ローマ字氏名 <small>※留学生のみ記入。大文字表記。</small> | | | | | |
| 生年月日 | | 西暦 年 月 日生 | | 国籍 <small>※留学生のみ記入</small> | |
| 英語外部資格試験 <small>※対象は一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜のみ</small> | | <input type="checkbox"/> 利用する (TOEIC・TOEFL) | | <input type="checkbox"/> 利用しない (本学の独自試験を受験) | |
| 現住所 | | 〒 — TEL () — | | | |
| 合否通知 送付先 | | 〒 — TEL () — | | | |
| 最終学歴 | | 出身大学 所在地 | | 卒業(修了)及び卒業(修了)見込み 年 月 | |
| | | 都道府県 | | 西暦 年 月 卒業(修了) 卒業(修了)見込み | |
| 大学名 | | 国立 公立 私立 | | 大学 学部 学科 | |
| 保護者連絡先 <small>(留学生においては日本在住の保証人がいる場合はその方の連絡先)</small> | | フリガナ | | TEL () — | |
| | | 氏名 | | | |
| | | 住所 | | 〒 — | |

履 歴 書

- ※ 外国人留学生特別選抜受験者は小学校入学から、学内推薦選抜・一般選抜・社会人特別選抜受験者は高等学校卒業から記入して下さい。
- ※ 社会人特別選抜受験者は職歴を詳しく記入して下さい。

学 歴

| 学 歴 | 学 校 名 | 学 校 名 及 び 住 所 | 入 学 年 月 及 び 卒 業 等 年 月 |
|---------|------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小 学 校 | 学校名 | | (西暦) 年 月 入学 |
| | | | (西暦) 年 月 卒業 |
| 中 学 校 | 学校名 | | (西暦) 年 月 入学 |
| | | | (西暦) 年 月 卒業 |
| 高 等 学 校 | 学校名 所 属 学 科 等 | 科 | (西暦) 年 月 入学 |
| | | | (西暦) 年 月 卒業 |
| 大 学 | 学校名 学 部 学 科 | | (西暦) 年 月 入学 |
| | | | (西暦) 年 月 <input type="checkbox"/> 卒 業 <input type="checkbox"/> 卒業見込 <small>※該当する箇所にチェック。</small> |
| そ の 他 | | | |

| | |
|-------------------------------------------|--|
| 日本文理大学在学時の学籍番号 <small>※該当者のみ記入</small> | |
|-------------------------------------------|--|

職 歴 (有・無) ※「有」の場合は下記へ記入。なお、記入欄が不足する場合は別紙を添付。

| 会 社 名 | 職 種 | 住 所 | 在 職 期 間 |
|-------|-----|-----|----------------|
| | | | (西暦) 年 月 ~ 年 月 |
| | | | (西暦) 年 月 ~ 年 月 |
| | | | (西暦) 年 月 ~ 年 月 |
| | | | (西暦) 年 月 ~ 年 月 |
| | | | (西暦) 年 月 ~ 年 月 |

日本文理大学大学院写真票【B票】

*印欄は記入しないで下さい

| | | | |
|-------------------------------|------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 入試区分(※いずれかを○で囲んで下さい) | | 学内推薦選抜・一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 | |
| 志望専攻 (※いずれかを○ で囲んで下さい) | 航空電子機械工学専攻 | 受験番号 | * |
| | 環境情報学専攻 | | |
| フリガナ | | 性別 | (写真貼付場所) 上半身脱帽 正面向き 出願3ヶ月以内 撮影の物 (4cm×3cm) |
| 氏名 | | 男・女 | |
| | | 国籍 ※留学生のみ記入 | |
| ローマ字氏名 ※留学生のみ記入。 大文字表記。 | | | |

-(きりとり)-

日本文理大学大学院受験票【C票】

*印欄は記入しないで下さい

| | | | |
|-------------------------------|------------|--------------------------------|-----|
| 入試区分(※いずれかを○で囲んで下さい) | | 学内推薦選抜・一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜 | |
| 志望専攻 (※いずれかを○ で囲んで下さい) | 航空電子機械工学専攻 | 受験番号 | * |
| | 環境情報学専攻 | | |
| フリガナ | | 性別 | 入試日 |
| 氏名 | | 男・女 | 月 日 |
| | | 国籍 ※留学生のみ記入 | |
| ローマ字氏名 ※留学生のみ記入。 大文字表記。 | | | |

- ※ 本受験票は、入試日当日に必ず持参して下さい。
- ※ 受験票は入学手続完了まで大切に保管して下さい。

受験番号

*

推薦書

(学内推薦選抜試験)

日本文理大学 学長 殿

指導教員所属：

学部

学科

指導教員：

印

下記の者は学業優秀又は特定の分野に特に優れた能力を有する者であり、学内推薦選抜者に値すると認め、推薦いたします。

| | | | |
|---------|----------------|-----------------------|------------|
| フリガナ | | 志望専攻 (該当する専攻に○を記入) | 航空電子機械工学専攻 |
| 氏名 | | | 環境情報学専攻 |
| 生年月日・性別 | 西暦 年 月 日生(男・女) | | |

【推薦理由】

【特記事項】

※指導教員が記入・捺印し、封筒に密封したものを提出して下さい。

日本文理大学大学院 アドミッション・ポリシー

工学研究科

- 1) 本学の教育理念「産学一致」「人間力の育成」「社会・地域貢献」のもとに、学部教育で得た学識を基盤として、独創的、応用的、先端的な研究能力および専門能力の修得を目指す人。
- 2) 高度化・複雑化する社会・産業界に適応できるように、工学におけるより高度な学問分野を意欲的に学び、絶えざる向上心のある人。
- 3) 困難や難題に対して最後まであきらめず、積極的に解決しようとする能力をより高めたいという熱意のある人。
- 4) 高い倫理観と人間力を有する技術者、研究者になろうという強い意志のある人。

航空電子機械工学専攻

- 1) 航空宇宙、電気電子および機械工学が互いに関連する横断的、総合的分野における複合技術・研究開発に強い興味のある人。
- 2) 航空宇宙、電気電子または機械工学の基礎学力を有し、それを複合領域へ柔軟に適用し発展させようとする熱意のある人。
- 3) 産業発展と環境保全の両立を第一に、航空宇宙、電気電子および機械工学の観点から将来ものづくりや技術・研究開発をしたい人。

環境情報学専攻

- 1) 建築・情報・環境の分野における幅広い視野と見識を備えた技術者を目指す人。
- 2) 情報工学、建築学および土木工学の基礎ならびに応用研究を推進し、広い視野と高度な専門技術を身につけたい人。
- 3) 地域社会の発展と持続可能な環境の創生を実現するために、情報工学、建築学および土木工学の観点から技術・研究開発をしたい人。

◆入試に関するお問い合わせ先◆

日本文理大学大学院 工学研究科入試係

(日本文理大学 アドミッションオフィス担当内)

〒870-0397 大分県大分市一木1727
TEL:097-524-2708(直通) FAX:097-592-5418



0120-097-593

URL:<https://www.nbu.ac.jp/> E-mail:nyuusi@nbu.ac.jp